



かまがわ

第8号
2012.12

かまがわ

1. 特集／糖尿病医療チーム
2. 診療科・中央部門紹介／脳神経センター
3. 院内取組紹介／安心の小児がん診療の提供、病棟看護師紹介
4. トピックス
5. くすりの豆知識／ゴーストピル、健康・予防の豆知識／生活に役立つ自助具の紹介
6. 病院からのお知らせ



病院理念

世界トップレベルの医療を地域へ

基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。
- 患者様の権利を尊重し、患者様本位の医療を提供します。
- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

患者様の権利

- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。



患者様の笑顔のために



私たちはTeam FUTABAです！



日本では糖尿病の人は、予備軍も含め約2200万人いるといわれています。それぞれが、さまざまな問題を抱えながら、食事・運動療法や薬物療法、合併症の不安と向き合っています。そんな方達の笑いのある楽しい生活をサポートするために、昨年、府立医大附属病院糖尿病医療チームができました。



糖尿病専門医

外来・入院の
診療担当です



D8病棟看護師

患者さんが退院後も上手に糖尿病と向き合っていけるよう教育・支援しています。



外来看護師

糖尿病を持ちながら楽しく生活できるようにサポートしています。



精神科医・臨床心理士

入院患者さんのカンファレンスなど、心理面でのサポートをしています。



安全管理推進者

患者さんが安心安全な入院生活を送れるようがんばっています！



地域医療連携室

患者さんの退院後、かかりつけ医との連携・紹介をしています。



D6病棟

眼科病棟ですが、糖尿病患者さんの入院も多く、治療・療養情報を収集し、カンファレンスをして、入院中・退院後のサポートに取り組んでいます。



薬剤師 管理栄養士

糖尿病教室や個別栄養指導、薬剤指導で活動しています。



その他の活動

- ・糖尿病予防啓発活動
- 今年も旧図書館を世界糖尿病デーのシンボルカラーである「ブルー」にライトアップしました。詳細はP.6をご覧ください。
- ・院内勉強会 等

いつでも気軽に ご相談ください！！

内分泌・糖尿病・代謝内科

局所麻酔手術センター OPEN!

本院中央手術部では、これまで5階中央手術部手術室12室にて、年間約6,500件の手術を実施してきました。

本院は、手術待ち期間を短縮し、より迅速に手術を受けていただくことを目指し、今年11月、新たに病棟3階に手術室を2室整備し、局所麻酔手術センターとして稼働することとしました。

手術室設備の充実を図ることで、より高度で安全な医療を皆様に提供していきたいと考えています。

※局所麻酔手術とは、全身麻酔手術と違い、手術部位に部分的に麻酔を用いて行う手術です。
例えば、白内障、硝子体、抜歯及び皮膚腫瘍摘出等の手術を行います。



日帰り手術の流れ

受付



木目調の爽やかな受付からご案内させていただきます。

術前準備・術後ケア

こちらのリカバリー室は、術前の麻酔投与や術後に麻酔から覚めるまでの間、看護師が見守る中、患者様が安心して休んでいただけるスペースとして準備しております。



手術



専用機器を配備した、高度な手術が提供できる手術室を整備しました。

手術内容によっては、その日のうちに家に帰ることができるよ♪

帰宅



急性期から慢性期までトータル的にケア！

脳神経センター

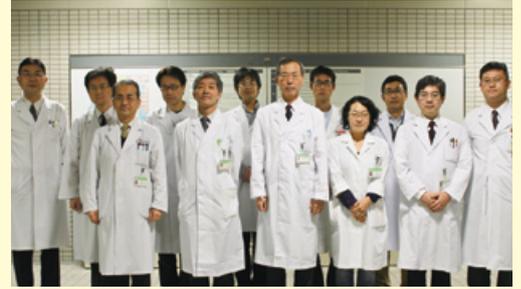
今回は、外来棟1階脳神経センターをご紹介します。

今後の超高齢化社会を見据え、神経内科・脳神経外科などの関係診療科が緊密に連携し、「急性期から慢性期まで」をトータルにケアできる体制を確保しています。

脳神経センター初診受診

神経内科

最新の知見を日常臨床へ迅速かつ慎重に反映させ、“世界トップレベルの医療を地域へ”をモットーに診断・治療を行っています。



主な取扱い疾患

- 神経変性疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症など）
- 末梢神経疾患 ○筋疾患 ○脳卒中 ○てんかん ○神経感染症 など

連携

脳神経外科

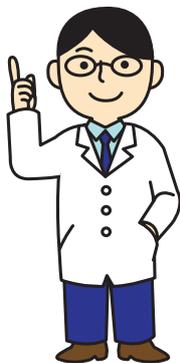
脳神経外科は、高度な診断治療を要する悪性・良性脳腫瘍、頭蓋底部疾患、脳血管障害、先天性奇形などの難治性疾患に加えて、頭部外傷や頭蓋内感染性疾患など脳神経外科一般の疾患にも質の高い医療を提供しています。



主な取扱い疾患

- 脳腫瘍 ○脳血管障害 ○頭部外傷 ○先天性疾患 ○頭蓋内感染性疾患 ○その他

急性期（救急）の患者



急性期の患者さんには、リハビリテーションを含め対応しています。



当院脳神経センターでは、認知症、パーキンソン病、脳腫瘍をはじめ、緊急性を要する脳卒中などの治療にもリハビリテーションを含めて対応しています。幅広い脳神経系の疾患に対して、専門医、看護師等スタッフ一丸となり患者さんに最適な医療を提供できるよう心掛けています。



安心の小児がん診療の提供

本院では、小児医療センターにおいて、小児がんを中心に治療を行っております。本院で開発した遺伝子検査などの診断技術を用いた診療など、最先端の小児がん治療を提供しています。

Q.どんな治療が受けられるの？

A.小児がん治療専門の小児科、小児外科を中心に、血液や固形の腫瘍、稀ながんにいたるまで、すべての領域の小児がんの治療に取り組んでいます。小児の患者さんはもちろんのこと、思春期、若年成人患者さんについても、必要に応じて、成人の診療科や多様な職種と連携をとりながら治療していきます。



Q.通院サポートやフォローはあるの？

A.病気を克服された患者さんに対するフォロー体制も整えています。気になることがある、専門家の意見を聞いてみたい、などお困りのことがあれば、いつでもご相談ください。

① 小児がん患者のための相談窓口 毎週月曜～金曜 午後2時～4時	小児がん経験者の生涯にわたるフォローアップを行うため、相談窓口を設置しています。
② 長期フォローアップ外来 毎週水曜 午後 (予約制)	成人領域各科と連携をとり、適切なフォローアップや検診を行える体制を整えています。 ※本院に通院していない方も対象です。
③ 小児疼痛緩和(緩和ケア) 外来 毎週水曜・木曜 午後 (予約制)	小児がんの外来の患者さんに対して、痛みの緩和・精神的な苦痛(不安・焦り)に対する治療を行います。在宅での生活支援のサポートを行います。
④ ひだまりサロン For Kids  <small>※次回開催は2月です。</small>	がん患者さんとそのご家族のためのサロンを開催しています。小児がん患者さんの保護者同士が交流できる場になっています。

がん相談問合せ先

がん相談支援窓口 TEL: 075-251-5283

また、小児がん専門医が全ての小児がんについてセカンドオピニオンを行っております。まずは、ご相談ください。

上記①～④相談問合せ先

小児科外来 TEL: 075-251-5567

患者さんへのメッセージ



小児がん治療の専門医が、患者さんに応じた最先端の治療を提供いたします。こども達の心身共に健やかな成長を願い、学校、プレイルーム、屋上庭園、宿泊施設などの充実を図っております。小児がんと診断され不安にお考えの方は、ぜひ当院にご相談ください。



看護師紹介 ~A8・C6病棟~

A8・C6号病棟は、神経内科・脳神経外科の病棟です。脳卒中をはじめとし、救急入院が必要な患者様も多く、ニーズに合った対応ができるよう、日々努力しています。また、疾患に伴い麻痺や障害が残るケースもあるため、他職種のスタッフとも協力し、入院時から退院後の生活を考慮したケア・支援ができるよう心掛けています。



TOPICS

患者図書室「ほほえみ」がオープンしました！



外来患者さん、入院患者さん及び家族の皆様などに癒しを提供できるよう、病棟3階に「患者図書室 ほほえみ」を設置しました。

大学附属図書館とタイアップして、患者さん等の安らぎや娯楽のための図書とともに、患者さん自身が病気と向き合うことを支援する医療関係図書や児童書も充実させ、約1500冊の図書を整備しています。

是非お気軽にご利用ください。

世界糖尿病デーに、旧図書館棟をブルーにライトアップしました！



世界糖尿病デー（毎年11月14日）にあわせて、シンボルカラーである「ブルー」に、旧図書館棟をライトアップしました。今年はブルーライトアップの前に患者さん同士の交流、医療者との交流を深めるための食事会も行いました。来年以降も継続予定ですので、是非参加してください。

<世界糖尿病デー>

糖尿病の脅威に対し世界が力を合わせようと、国連や空を表す「ブルー」と団結を表す「輪」を用いたシンボルマークを使用し、毎年11月14日にイベントを行っています。



京都府立医科大学は、創立140周年を迎えました。



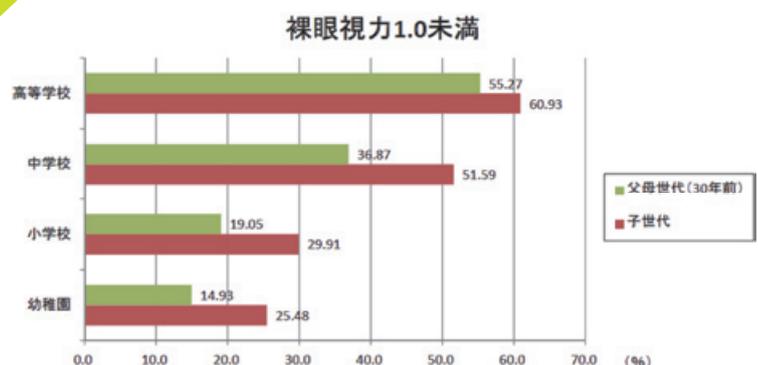
京都府立医科大学は、明治5年に府民の寄付により設立され、今年で創立140周年を迎えました。多くの皆様のご支援に深く感謝致します。

創立記念事業として、明治初期に建設された大学門をモチーフとした新大学門を整備し、また、大学・病院を紹介するデジタルパンフレット・ムービーを大学ホームページに掲載しています。大学HP：<http://www.kpu-m.ac.jp>

近視進行予防トライアルの紹介

小学生の近視が増えています。(図)
早く近視になると強い近視になるので、近視進行抑制が喫緊の課題です。眼科では、小学生を対象として、「オルソケラトロジーの近視抑制トライアル」を行っています。寝ているときにつけて、日中ははずすレンズです。詳細は眼科HP (<http://www.ganka.gr.jp/>) をご参照ください。

※P.8「病院からのお知らせ」でも開催日等を記載しております。



▲図 (出典：平成23年度学校保健統計調査)



くすりの豆知識

ゴーストピル

VOL.4

ゴーストピルって？

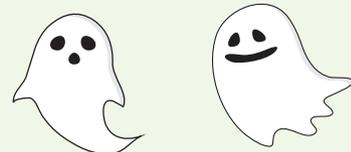
薬の中には、錠剤やカプセルの表面に特殊な加工を施して、内服後に中の有効成分がゆっくりジワジワと溶け出すことにより、効果が長く続くように工夫されているものがあります。そのような薬は、その表面までは溶けませんので、ときにその錠剤やカプセルの形が崩れず、そのままの形で便の中に出てくる場合があります。この薬の抜け殻が「ゴーストピル」と呼ばれています。

薬の成分（魂）の抜けてしまったあとの殻（ゴースト）に不安になることはありません。薬の成分はきちんと吸収されているはずなので、飲み直したりする必要はありません。



ゴーストピルが出てくる可能性がある薬は？

本院採用の薬で、ゴーストピルが出てくる可能性のあるものにはデパケンR錠、ユニフィルLA錠、ペンタサ錠、フェロ・グラデュメット、スローケー、ピーガード錠、オキシコンチン錠…などがあります。



「ゴーストピル」らしきものを見て不安な方は、医師・薬剤師に相談しましょう。

健康・予防
の豆知識

リハビリテーション部 連載企画

第6回 生活に役立つ自助具の紹介

①自助具とは？

日常生活を送る上で、不自由に感じている部分を手助けしてくれる、身近な福祉用具のことです。

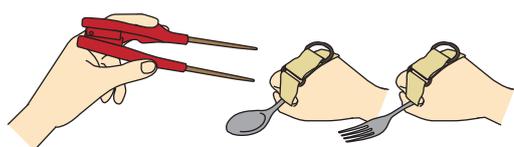
②自助具の一例

脳卒中、関節リウマチ、脊髄損傷、手足の骨折の方などが多く使用されており、例えば……。

手の力が弱い方や上手く握れない方

バネ付き箸

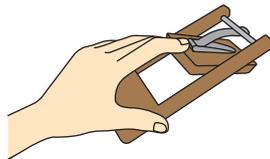
万能カフ



市販のスプーン、フォークなどが着脱可能

片手が不自由な方

片手用爪切り



上から抑えるとテコの原理で爪が切れる

足のつま先や遠くまで手が届かない方

リーチャー

ソックスエイド



スポッ

ゲイツ

先端の部分に靴下をあらかじめ通しておき、紐を引っ張る事で靴下が履ける

③入手方法

ご購入に関してはお近くの介護用品店やインターネットでの検索、または介護保険ご利用の方はケアマネージャーにご相談ください。

病院からのお知らせ



(1) イベント・講座等のご案内

事項	開催日時	内容	参加費	問合せ先
1 ①近視進行予防 トライアル説明会 ②近視矯正手術 LASIK 説明会 ③第3回眼科府民講座 「緑内障」	1月19日(土) ①13:00~13:30 ②13:30~14:00 ③14:00~16:00	①小学生を対象にした近視進行予防オルソケラトロジーの臨床研究説明会。 ②近視手術レーシック普及のため、眼科教室が開催している一般市民向け公開講座。 ③患者さんへの情報提供のため、年4回開催している眼科教室の一般市民向け公開講座。	無料	眼科 075-251-5578
		会場 (①~③いずれも) 京都府立医科大学 北臨床講義室		
2 ①近視進行予防 トライアル説明会 ②近視矯正手術 LASIK 説明会 ③第4回眼科府民講座 「ドライアイ、斜視弱視」	3月16日(土) ①13:00~13:30 ②13:30~14:00 ③14:00~16:00	①小学生を対象にした近視進行予防オルソケラトロジーの臨床研究説明会。 ②近視手術レーシック普及のため、眼科教室が開催している一般市民向け公開講座。 ③患者さんへの情報提供のため、年4回開催している眼科教室の一般市民向け公開講座。		
		会場 (①~③いずれも) 京都府立医科大学 基礎棟第2会議室		

(2) その他のお知らせ

事項	内容	問合せ先
1 診療予約情報を メールで お知らせ	御希望のメールアドレスに診療予約情報を予約日の前日に送信するサービスを行っています。 平日午前9時~12時まで登録を受け付けますので、登録希望の方は外来棟1階総合案内までお申し出ください。	病院経営企画室 075-251-5254
2 インターネット で健康管理 「まいこネット」	「まいこネット」に御利用申請いただきますと、当病院での検査結果、処方の内容など健康データがご自宅のパソコン、携帯電話から閲覧できます。 利用申請書は、外来診療棟1階5番窓口でお渡ししています。	

休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

初診受付時間 午前8時45分~午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

敷地内は全面禁煙としております。皆様のご理解とご協力をお願いします。



京都府立医科大学附属病院

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

電話 075-251-5111 (代表)

HP <http://www.h.kpu-m.ac.jp>